

# スポーツイベントの参加者を増やすためには

塩谷町 生涯学習課・企画調整課  
指導教員 中村祐司先生

23班 コミュニティデザイン学科 保坂樹  
建築都市デザイン学科 飯塚幸世 菊池勇道  
社会基盤デザイン学科 齋藤響 吉川珠暖

## 背景

### 若者のイベント参加者が少ない

- 地域のスポーツイベントにおいて、参加者が減少（特に若い世代の方の参加が少なく、地域行事への関心が薄れている）
- 公金を使って開催しているのにも関わらず、一部の人にしか還元できていないことも問題

## 目的

### 潜在的理由を明らかにしニーズを探りたい

- 参加者に高齢者が多く若者が少ない。  
→若者のイベントへの興味関心が薄れている理由を明らかにし、今後のイベント内容に反映することで参加者を増やす

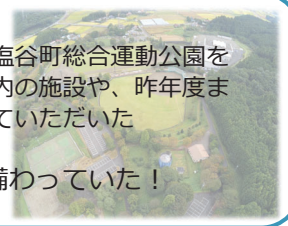
## 方法

### ◆ アンケート調査

- 塩谷町内の小学6年生と中学生を対象とした書面によるアンケート調査 (329部)
- SNSユーザーを対象としたGoogleフォームによるWEBアンケート調査
- 塩谷町内の全世帯を対象とした2.と同様の内容のWEBアンケート調査 QRコードが記載されたチラシを回覧板を通して配布(3177部)  
※()内は書類の配布数

### ◆ 現地調査

しおやスポーツフェスタの会場である塩谷町総合運動公園を訪問し、地域パートナーさんから公園内の施設や、昨年度までのスポーツイベントの様子を説明していただいた  
→広い敷地内に多くの競技施設が備わっていた！



## 分析結果

### ① 小・中学生を対象としたアンケート(小学生88名、中学生195名)

#### 1. 塩谷町について

小・中学生を対象に、「塩谷町が好きか」という調査を行ったところ、両者ともに7割を超えており、塩谷に好意的な生徒が多いことがわかった。

#### 2. 今後スポーツイベントが開催されても参加したくない理由

「今後スポーツイベントが開催されても不参加」と答えた生徒は、小学生53名、中学生134名という回答が得られた。その中でも最も多い理由は、「運動が苦手だから」というものだった。そのため、運動が苦手な人向けのイベント開催を視野に入れたほうが良いだろう。

#### 3. どのようにイベントをお知らせしてほしいか

「スポーツイベントの開催をどのようにお知らせしてほしいか」というアンケートでは、小・中学生合計で「学校で配布してほしい」が一番多く、次いで「町の広報誌」となった。

### ② Webアンケート (97名)

#### 1. よく使うインターネットサービス

GoogleフォームによるWebアンケートでは、「LINE」・「YouTube」・「Instagram」・「Twitter」の順で多い結果となった。

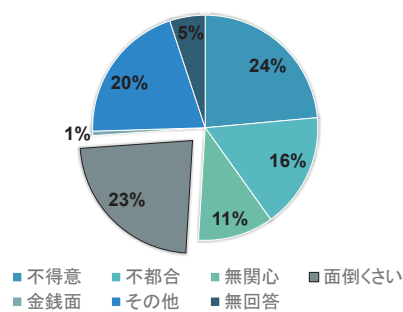
#### 2. どのようなスポーツイベントなら参加したいか

スポーツイベントに対する要望で多かったものは、「複数人で気軽に楽しめるもの」、「年齢に関係なく楽しめるもの」、「得意不得意が関係なく遊べるもの」、「勝ち負けがないもの」といった意見が多く挙がった。

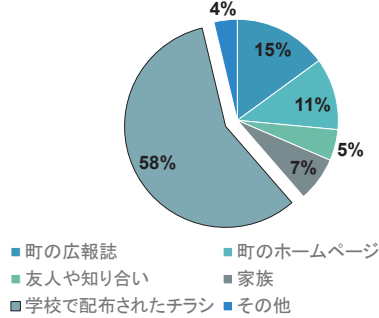
#### 3. 過去に地元のスポーツイベントに参加しなかった理由

過去に地元のスポーツイベントに参加しなかった理由としては、「スポーツイベントの存在を知らなかった」、「スポーツイベントがなかった」といった意見が多く、イベントの広報に問題があるものが多く挙がっていた。

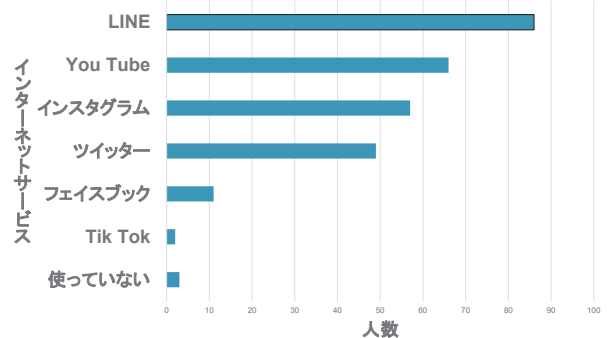
今後スポーツイベントが開催されても参加しないと答えた小中学生(N=157)



どのようにお知らせしてほしいか(小中学生n=232)



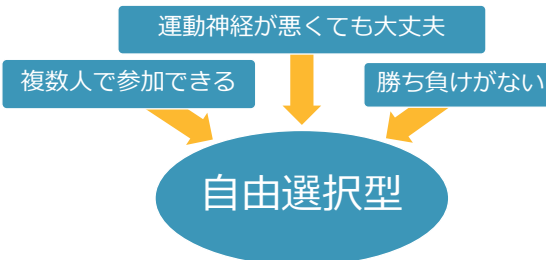
よく使うインターネットサービスは何ですか



## 提案

### ◆ イベントの提案

様々なスポーツができるエリアを設け、参加者が自由にやりたいスポーツを楽しむ仕組み



※既存イベントとの違い  
自分がやりたいスポーツを自由に行うことができ、勝ち負けにこだわらず気軽に楽しめる



### ◆ 広報の方法

#### SNSによる広報

塩谷町公式LINEの開設

SNSを介した町民と自治体の連携

イベントへの参加  
パブリックコメント等

